学校番号	104

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	文学国語セレクション（東京書籍） 錬成現代文　大学入学共通テスト対策　新装二版（尚文出版） 大学入試国語頻出問題 1200[五訂版]（いいずな書店） イラストとネットワーキングで覚える現代文単語げんたん（いいずな書店） 完成日本文学史ノート[三訂増補版]（啓隆社） 新共通テスト対策　決戦国語完答４０（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では文学的文章（小説・随想・詩歌）を主に読み、生涯にわたり文学に親しむ姿勢を身に付けます。
・可能な限り多くの文学的文章に触れ、その読解を支える文学史についても正確な知識を身に付けることで、主に日本の近現代の文学がどのような流れの中に位置づけられているかを学びます。
・論理的文章以上に「どのように何が表現されているか」を丁寧に読み取り、その解釈の妥当性を支える言葉を書かれた内容から探し続けるという態度を常に抱き、授業に臨んでください。

2　学習の到達目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。
・様々な文章や作品に触れ、自己のものの見方、感じ方、考え方を深める。
・進んで読書することで、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。
・漢字や語句の意味、文法など国語の基礎知識や教養を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期ごとに５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 ［教材］ 小説「窓」いしいしんじ	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：「短編小説」が象徴するものが何なのかを粘り強く考え、自分の言葉で文学における「象徴」の役割を言葉で説明しようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
	・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかについて考える。 ［教材］ 随筆「雨月物語」木内昇 ［補助教材］（プリント等） 古文『雨月物語』 「浅茅が宿」（抄）上田秋成 青空文庫「耳無芳一の話」 小泉八雲（戸川明三訳）	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b［読］：設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：上田秋成の『雨月物語』が幼少期の筆者に与えた影響を読み取り、ここまでの学習内容を生かして「物語」がもつ効果についての自分の考えを言葉でまとめようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
	・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。 ［教材］ 小説「あの朝」角田光代 ［補助教材］（錬成現代文） 小説「センセイの鞄」川上弘美 詩「祝婚歌」吉野弘	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 b［読］：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：何かを「なくす」ことで「好きになる」という経験について、補助教材も踏まえながらクラスメイトと話し合うことで、自己の考えを深めようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問 グループワーク	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
	・詩のリズムや表現に気付き、詩の表す事柄を理解したり、思いをくみ取ったりする。 ［教材］ 詩「永訣の朝」宮沢賢治 ［補助教材］（プリント） 詩「松の針」宮沢賢治 詩「無声慟哭」宮沢賢治	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［読］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：文学史における詩歌の歴史と役割を理解しながら、詩の骨格を支える優れた表現を粘り強く見つけようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察

	・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 ［教材］ 小説「鞄」阿部公房	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b［読］：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：鞄が象徴するものについて深く考えることで、文学における「寓意」のもつ役割を自分の言葉で説明しようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
二学期	・筆者の読書体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。 ［教材］ 随筆「国語から旅立って」 温又柔	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b［読］：他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：日本語を母語としない筆者の随筆を読み、日本語という言語にはどのような特色があるかを考え、自分の言葉でまとめて他の生徒と粘り強く話し合おうとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問 グループワーク	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
	・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。 ［教材］ 小説「檸檬」梶井基次郎 ［補助教材］（プリント等） 詩「レモン哀歌」高村光太郎 歌詞「Lemon」米津玄師	a：言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b［読］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：風景描写と「私」の心情描写を丁寧に読み解くことで、この小説における「檸檬」の持つ意味について、自分の言葉で最後まで考え、まとめようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
	・人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、言葉と存在の関わりについて考える。 ［教材］ 随筆「空っぽの瓶」多和田葉子 （松永美穂訳）	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［読］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：本文が翻訳文であることを意識しながら、言語経験として身体化されている一人称の性差について、筆者の考えを参考にしながら自分の考えを言葉で表そうとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察
	・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。 ［教材］ 随筆「平気」長谷川櫂 詩歌「硝子の駒―短歌抄」 詩歌「金剛の露―俳句抄」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 b［読］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：短歌や俳句が日本文学でどのような位置づけにあるかを理解し、正岡子規についての文章の読解を通じて、 俳句や短歌の解釈について、クラスで粘り強く話し合いながら自分の解釈を深めようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問 グループワーク	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察

	・評論や解説を参考にして作品への解釈を深め、作品の内容について論述する。 ［教材］ 評論や解説を参考に、文学作品に対する自己の考えを論述する	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［書］：文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：進んで自分が立てた仮説について検証し、評論や解説を参考にして作品への解釈を深め、ワークシートに沿って論述しようとしている。	ワークシート	ワークシート グループワーク	教師による行動観察 生徒同士による相互評価 生徒自身による自己評価
三学期	・筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。 ［教材］ 評論「演技する『私』」安藤宏	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。	定期考査 予習プリント 指名発問	定期考査 ワークシート 指名発問	ノートの記述 振り返りシート 授業中の発言 教師による行動観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間